

茨協ニュース

第92号

平成27年8月1日

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

今の自分に満足せず 勉強しよう。
頑張ってみよう。やり直してみよう！



CONTENTS

目次

CONTENTS

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| ■ 第41回通常総会開催 2 | ■ 各委員会だより 13 |
| ■ 第26回優良従業員表彰式開催 8 | ■ 会員告知板 13 |
| ■ 平成27年度清掃作業従事者研修指導者講習会開催 ... 9 | ■ 自由投稿欄「余暇・趣味について考える」 14 |
| ■ 第11回茨城県ビルクリーニング技能競技会 10 | ■ 会員紹介ページ 16 |
| ■ 第14回関東甲信越地区ビルクリーニング技能競技会 ... 11 | ■ 編集後記 18 |
| ■ 理事会だより 12 | |

第41回 通常総会開催

6月11日（木）、ホテルレイクビュー水戸2F「飛天の間」にて、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の第41回通常総会と、茨城県ビルメンテナンス政治連盟の平成27年通常総会が盛大に開催されました。

まず、協会の通常総会に先立ち、「第26回優良従業員表彰式」が行われました（8ページ参照）。



通常総会は、橋本理事の司会により、来栖副会長の開会のことばで始まりました。

主催者を代表して大山会長の挨拶、続いてご来賓として、茨城県保健福祉部生活衛生課技佐兼技術総括 川崎 敦様、茨城労働局 健康安全課長 工藤 好央様、一般社団法人茨城県警備業協会 会長 島村 宏様からご祝辞をいただきました。

続いて、司会者から、正会員67社の2分の1を超える55社の出席（委任状提出22社）を得たとの総会成立宣言があり、議長にJ R水戸鉄道サービス(株)の佐藤 秀夫氏、副議長に三幸(株)第一事業部 筑波営業所の北村 三津雄氏を選出しました。次に、議事録署名人に、佐藤議長、大山会長、(株)暁恒産の佐藤 龍生氏を選出し、議事に入りました。



第1号議案「平成26年度事業報告について」及び第2号議案「平成26年度決算について」を、一括して砂押専務理事兼事務局長が説明し、その後、監事を代表して鈴木監事から監査報告があり、第1号議案及び第2号議案は、原案どおり承認されました。

次に、第3号議案「選挙管理委員の選出について」を、砂押専務理事兼事務局長が説明し、原案どおり(株)アメニティ・ジャパンの川上 英則氏の就任が承認されました。

次に、第4号議案「公益社団法人全国ビルメンテナンス協会定時総会の代議員選出について」を、選挙管理委員を代表して大橋委員



が説明し、原案どおり高橋興業(株)の来栖 久氏と関東ビルサービス(株)筑波営業所の宮内隆夫の就任が承認されました。

次に、報告事項として、「平成27年度事業計画について」及び「平成27年度収支予算について」を、一括して砂押専務理事兼事務局長が説明をしました。

以上、全ての議案が承認・決議され、総会は、宮内副会長の閉会のことばで終了いたしました。

休憩の後、引き続き、茨城県ビルメンテナンス政治連盟の平成27年通常総会が開催され、提出された議案は、全て原案どおり承認・決議されました。

当日は、お忙しい中、ご臨席を賜りましたご来賓の方々、並びに長時間にわたりご審議にご協力をいただきました会員各社の皆様方に、厚くお礼申し上げます。



あいさつ

(一社) 茨城県ビルメンテナンス協会

会長 大 山 進



本日は、当協会の通常総会に、多数の方々のご出席をいただきまして、役員一同、深く感謝申し上げます。

また、ご来賓として、大変お忙しい中、県生活衛生課 技佐兼技術総括の川崎様、茨城労働局 健康安全課長の工藤様、並びに県警備業協会会長の島村様のご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、昨年度、当協会は、一般社団法人として2年目となりました。

引き続き、人材の育成を最重要課題と位置づけ、講習会の質的な向上、知識と技術の普及、労働安全衛生の向上を図るとともに、「顧客の信頼は、資格の取得から」を旗印に掲げ、社員が勉学にも積極的に取り組める職場の環境づくりを推奨してまいりました。

まず、建物衛生の関係では、指導者講習会や、ビルクリーニング技能検定準備講習会などの人材育成事業に加え、高齢者や障害者の就労支援を目的とした清掃の技能訓練などにも、力を注ぎました。

次に、設備保全の研修では、専門家の指導の下、現場で生かせる電気と熱の計測技術を、演習問題を解きながら学び、省エネへの対応能力の強化を図りました。

次に、労働安全衛生の関係では、大会の開催を通じ、安全対策の徹底を再確認するとともに、精神科の医師から、相互のコミュニケーションを活発にする手法を実地に学ぶことで、メンタルヘルス対策の向上を図りました。

次に、社会貢献事業でございます。

全国協会から助成を受け、2回目となる「小学生清掃活動トレーニング事業」を実施いたしました。

会員22社のご支援をいただき、小学校9校の児童、延べ808名に、清掃技能の実地指導を行い、学校関係者をはじめ、多方面から高い評価をいただくことができました。

次に、広報関係では、「茨協ニュース」の発行に加え、ホームページの「お知らせ」欄を中心に、最新情報を遅滞なくアップし、迅速な情報の提供に努めました。

次に、新規事業でございます。

47名のご参加をいただき、「会員相互のコミュニケーション促進事業」を実施しました。「接遇」の基本を研修のテーマとしましたので、若い方の参加が多く、夜の懇親会では、相互のコミュニケーションが活発に行われ、会員の横の連携強化に、大いに効果を上げることができました。

各事業とも、ほぼ計画どおり実施することができましたが、多くの会員のご協力とご支援をいただいたからこそ成し得たことであり、心から感謝申し上げる次第でございます。

次に、「一般社団法人に移行した後の対応」でございます。

昨年6月に、法の規定に基づき、「公益目的支出計画実施報告書」を県に提出しましたが、それが承認をされ、12月に県知事から「実施完了の確認書」が交付されました。

これによって、一般社団法人への移行に伴

う一連の法的な手続きは、全て終了いたしました。

重ねて、感謝申し上げます。

事業の詳細につきましては、事務局から報告をいたしますので、皆様方の慎重なご審議をお願いいたします。

次に、今年度の基本方針でございます。

1月の賀詞交歓会で申し上げましたが、「知識と技術さらに磨きをかけ、今の自分を超えよう」、これを旗印としまして、社員が常に自己研鑽に努め、スキルアップを図ることができる職場の環境づくりを推奨してまいります。

また、人材育成や社会貢献事業の一層の充実を図るとともに、会員相互のコミュニケーションを更に促進するため、従来からの「B Mゴルフ大会」を、協会の主催といたします。

さらに、二酸化炭素の削減を新しいビジネスモデルとして確立する動きや、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)の大改正にも、的確に対応してまいります。

会員の皆様方の変わらぬご理解とご協力をいただきたく、お願いいたします。

なお、本日は、総会の前に、優良従業員の表彰式が行われますが、14名の受賞者に、心からお祝いを申し上げます。

皆様方は、所属されるそれぞれの会社で、長年に渡り、メンテナンス業務に精励をされ、しかも勤務成績が極めて優秀な方々でございます。

今まで、他の社員の模範として、立派に職務を果たしてこられた皆様方のご尽力に、深く敬意を表するところでございます。

今回の受賞を契機としまして、今後ますますご活躍されますことを、大いにご期待申し上げます。

最後に、本日、ご出席の皆様方のご健勝と、ご繁栄をご祈念申し上げまして、簡単ではございますが、総会にあたりましてのご挨拶といたします。



ご来賓あいさつ

茨城県保健福祉部生活衛生課

技佐兼技術総括 川 崎 敦 様



本日ここに、茨城県ビルメンテナンス協会の第41回通常総会並びに第26回優良従業員表彰式が、盛大に開催されますことを、心から

お慶び申し上げます。

本来であれば、生活衛生課長の鈴木から、ごあいさつを申し上げるところではございますが、所用により出席できませんので、私からごあいさつ申し上げます。

大山会長さんをはじめ、会員の皆様方には、日頃より、安全・快適な住環境の提供にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

また、ただ今、優良従業員として、栄えある表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。

心からお祝い申し上げますとともに、今回の受賞を契機として、今後益々活躍されることを、ご期待申し上げます。

さて、ビルメンテナンス業務は、建築物の設備管理をはじめ、清掃、衛生管理、さらには警備防災など幅広い分野に及んでいます。

さらに、近年は、地球温暖化防止対策をはじめとした環境問題への対応や、節電などの省エネルギー対策など、新たなニーズを受けて、皆様方には、より専門的な知識と技術の習得が求められていることと存じます。

このような中、協会におかれましては、従事者の管理技術の研鑽を目的とした各種研修会の開催や技能競技会への参加などにより、建築物の維持管理やサービスの向上に取り組まれているほか、社会貢献活動の一環として、

県内の特別支援学校等への訪問による講習や高齢者の就労支援のための技能訓練の実施など、普及啓発並びに人材育成に熱心に取り組まれており、県として大変心強く感じているところでございます。

県といたしましては、引き続き、協会の皆様との情報交換等に努めながら、建築物の衛生環境の向上等を通じた安全・快適な住環境の提供に取り組んでまいりますので、今後とも、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、茨城県ビルメンテナンス協会の益々の発展と、ご参会の皆様方のご健勝、ご繁栄を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



茨城労働局労働基準部

健康安全課長 工 藤 好 央 様



一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の第41回通常総会が盛大に開催されましたことに、心からお祝いを申し上げます。また、

日頃から、大山会長様初め会員の皆様には、労働災害防止や関係法令の遵守などをはじめとした労働行政の推進につきまして、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、茨城県内における労働災害の発生状況ですが、残念ながら大幅に増加しています。具体的には休業4日以上死傷者数では、平成25年では2,757人であったものが、平成26年には2,844人となり、対前年比127人、率にして4.6%の増加ということで、平成23年から3年連続で減少していた傾向に歯止めがかかってしまいました。

更に死亡者数についても同じく、平成25年では35人でしたが、平成26年には40人となり、再び40件の大台に乗る結果となってしまいました。

平成27年に入りまして、労働災害の発生件数は5月末時点で前年同期より43人増加と増加の幅が大きくなってきているなど、全体として休業4日以上労働災害による死傷者数は、前年からの増加傾向に歯止めがかからない状況が続いております。

本年は、第12次労働災害防止5か年計画の3年目に当たり（計画目標：死傷者数20%以上、死亡者数は前計画期間中より15%以上減少させる）ですが、現時点では計画目標の達成は非常に厳しい状況となっています。

このようなことから、茨城労働局では、本年度は従来から実施している業種別の労働災害防止対策に加えて、業種横断的に以下の2つの重点施策に取り組むこととしております。

1つは昨年、茨城県内の事故の型別で災害を分析した結果、墜落転落災害などを押さえて、最も多かった転倒災害の防止対策です。この対策は「STOP転倒災害プロジェクト」という名称で本年2月より進めているものです。ちなみにビルメンテナンス業における過去10年間の死傷災害を分析した結果でも、転倒災害が最も多く、全災害の36%を占めておりますので、皆様方におかれましても、転倒災害防止に関する注意事項などを改めてご確認いただき、転倒災害防止にご協力をいただきますようお願いいたします。

業種横断的に取り組むもう1つの対策は、「交通労働災害防止のためのガイドライン」を中心とした交通労働災害防止対策です。平成26年に発生した死亡災害40人の内、交通事故による死亡者数は7人と墜落転落災害の次に多く発生していることから、改めてこのガイドラインの周知を図り、交通労働災害防止対策の徹底を進めていきたいと考えておりますので、こちらにつきましても皆様のご協

力をいただければと考えております。

また、茨城県内では毎年、熱中症による死亡事故も発生していることから、1人作業においてはアラーム機能付きの携帯型の測定器を携帯するなど、熱中症の予防についてもご留意願います。

なお、ビルメンテナンス業における死傷災害の発生状況ですが、こちらも残念なことに平成24年から26年にかけて3年連続で増加している状況にあります。

私どもといたしましては、是非ともこのような死傷災害の増加傾向に歯止めをかけていきたいと考えておりますので、皆様の積極的なご協力をいただければと思います。

最後になりますが、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会並びに会員の皆様の、ますますのご発展とご健勝をご祈念申し上げ、簡単ではございますが、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。



一般社団法人 茨城県警備業協会

会長 島村 宏 様



只今、ご紹介をいただきました茨城県警備業協会の島村でございます。

本日は、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の第41回通常総会がこのような盛会に開催されますこと、誠にありがとうございます。

大山会長様はじめビルメンテナンス協会の皆様方には、平素から、何かとご厚誼を賜り、また、ご指導・ご支援をいただいておりますことに、この場をお借りして心から御礼を申し上げます。次第であります。

最近の社会情勢ですが、経済面では、緩や

かな回復傾向が持続しており、企業では停滞気味の個人消費の伸びで景気上昇に転じていくものと期待しているところでありますが、今年の春闘では、賃上げが行われた企業や産業についての報道がありましたものの、私共生活の身近では、食品、日常品の値上がりが続き、個人消費の上昇気運が明白には表れていない現況が現状であります。政府は、地方創生の考えを強調し、様々な景気回復策を講じておりますが、国民が関心を寄せて、国内中が沸き立って景気上昇につながるような、素晴らしい政策が誕生することを期待したいところであります。

また、昨年は、年間を通して、自然の驚異が猛威をふるい、大変つらい気持ちにさせられました。今年も、4月にネパールで大地震が発生し、8千人以上の犠牲者が出たほか、国内でも、5月だけで震度5の地震が連続して発生し、蔵王や箱根で噴火の兆しがある最中の月末には、くちのえらぶじま口永良部島で全島避難するという大噴火がありました。

警備業もそうではありますが、特に、ビルメン事業に携わる皆様方にとって、緊張感を持って対処しなければならない重大事であると思います。

どうも、暗い話題だけがやけに目につけてしまいますが、このようなときこそ、企業でも、個人でも持てる力を発揮して、全力投球しなければならないと思うのであります。

そうした中、ビルメン協会様では、貧しいときを乗り越え、豊かに郷土を支えた先人訓の例に取り上げられることの多い、人材教育が最も重要であるとの考え方から、各種委員会活動による取組みが非常に活発で、各種研修会の開催をはじめ、ビルメン事業に対する期待に応えるための施策が展開されており、改めて敬意を申し上げ

ますと共に、私共も大いに参考にしなければならないと思っている次第であります。

ただ今は、「第26回優良従業員表彰式」が行われましたが、表彰を受けられた皆様におかれましては、誠におめでとうございます。

皆様は、各事業所において日ごろから精励し、素晴らしい成果を挙げられまして晴れの受賞に結びついたものと思いますが、皆様のその真摯な姿勢、態度は必ずや皆様の会社、そして業界全体の評価、繁栄につながるものと確信しております。今後、益々のご活躍を改めてご期待申し上げる次第であります。

今、私共警備業界では、様々な課題を抱えております。とりわけ、社会保険未加入問題の解消については、適正な賃金確保なくしては考えられないことから、意思統一を図り、全力を挙げて取組むこととしております。

本日ご参会の皆様方の中には、併せて警備業を営まれている事業所様も沢山あることを承知いたしております。

皆様方の業界と私共業界とが、今後とも大いに連携し、共に発展していくことが大切であると考えております。

どうぞ、これまで以上のご厚誼、ご指導・ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。次第であります。

結びになりましたが、茨城県ビルメンテナンス協会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。



第26回

優良従業員表彰式を開催

6月11日(木)の協会の通常総会に先立ち「第26回優良従業員表彰式」を開催しました。

今回は、会員各社において永年にわたりご活躍をされ、大きなご貢献をされた14名の方々が受賞されました。

大山会長から表彰状と記念品が授与され、ご来賓からご祝辞をいただきました。

その後、受賞者を代表して、(株)ニッセイ結城の須藤 富夫 様が謝辞を述べられました。

受賞者の皆様方の今後ますますのご健勝をご祈念申し上げます。



受賞者名簿

氏 名	所属会社名	氏 名	所属会社名
飯 島 進	(株)裕生 つくば営業所	大久保 栄 子	(株)ともゑ
小笠原 昭 蔵	日本不動産管理(株) 茨城支社	小 泉 隆 則	テスコ(株) つくば支店
須 藤 富 夫	(株)ニッセイ結城	吉 川 礼 子	東京美装興業(株) 茨城営業所
荒 木 克 巳	(株)高 商	高 倉 リヨ子	JR水戸鉄道サービス(株)
善 林 宣 男	(株)暁恒産	中 川 真 実	テルウェル東日本(株) 茨城支店
阿 井 利 子	(株)全日茨城	藤 田 孝 子	日和サービス(株)
鈴 木 みどり	茨城ビル代行(株)	海老沢 とみ子	日和サービス(株)

平成27年度

清掃作業従事者研修指導者講習会（新規・再講習）を開催

■ 建物衛生委員会

7月23日（木）に県総合福祉会館で、本年度の清掃作業従事者研修指導者講習会を開催しました。

受講者数は、新規11名及び再講習25名の計36名でした。

講習会は、矢口委員長の挨拶で始まり、「建築物衛生法」（砂押専務理事）、「安全と衛生」（藤原講師）、「顧客対応」（金親講師）、「教育技法」（大曾根講師）、「従事者研修指導のポイントⅠ」（篠崎講師）、「従事者研修指導のポイントⅡ」（塩谷講師）の順に進められ、各科目とも実務に即した内容とすることを心がけました。

最後の科目である「最新の情報提供」では、賛助会員のシーバイエス(株)の新部様と川辺様から、「新しい床管理 フロア エボリューション メンテナンス システム」の演題で、清潔感あるフロア環境を長期間に渡って維持していく手法などについて、ご講義を受けました。

受講者の皆様方におかれましては、朝から夕刻まで、大変お疲れ様でした。また、シーバイエス(株)のご協力に深く感謝申し上げます。

結びに、今さら申し上げるまでもないのですが、この講習会は、社会で行う清掃作業従事者研修の指導者の養成を目的としております。多数の受講によって、何よりも大切な人材の育成が一層促進されることになれば、この上ない喜びです。

来年も多くの方々が受講されますよう心から願っています。



第11回

茨城県ビルクリーニング技能競技会

■ 建物衛生委員会

今回で11回目を迎える茨城県ビルクリーニング技能競技会を、4月16日茨城県職業人材育成センターで開催しました。競技会には会員各社から5名の選手が参加し、矢口建物衛生委員長の開会あいさつで競技会が始まりました。

競技ルールは全国統一で競技コート16㎡（4m×4m）のPタイル床を、作業準備・除塵・洗浄・汚水取り・仕上げ拭き（1回）・乾燥・床維持剤の塗布・後始末の一連の作業

を、20分以内で仕上げる競技で、熟練の技とスピードそして仕上がりの品質の良さを要求される競技である。

1コート1名で競技が進行し、競技中は声援を送ることができない為、静粛な中にも熱戦が繰り広げられた。6名の協会講師の審査員により、厳正に審査された結果は最優秀賞1名・優秀賞4名で下記の通りでした。

出場選手及び選手所属関係者、競技会・協会関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

最優秀賞

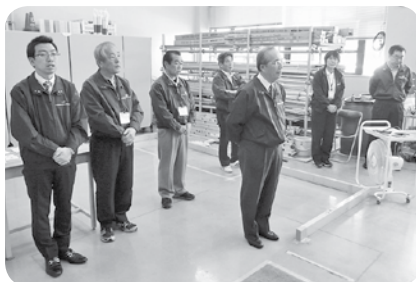
日和サービス(株)

山形 宏子

優秀賞

テルウェル東日本(株)茨城支店
日興美装工業(株)茨城支社
関東ビルサービス(株)
茨城ビル代行(株)

平山 悦子
横井 雅宏
秋山 弘美
菅沼 浩二



第14回

関東甲信越地区ビルクリーニング技能競技会

並木の新緑が輝く晴天の5月22日、神奈川県横浜市の競技会場にて、「第14回関東甲信越地区ビルクリーニング技能競技会」が開催されました。関東甲信越地区から21名の選手が参加し、茨城県からは茨城県大会最優秀選手3名が出場しました。

競技内容は2面コートで2名同時スタート、競技ルールは国家試験の床表面洗浄作業と同じ設定になります。制限時間17分ですがタイムオーバー打ち切りはありません。競技順番は抽選で決まるため、茨城県代表選手が2名同時にスタートすることになるハプニ

ングがありました。各県の代表選手は規定の作業を正確に行うだけではなく、男子選手はパワフルでスピード感のある演技、女子はしなやかできめ細やかな演技と、それぞれの選手が特徴を出し表現を駆使し、「魅せる清掃作業」を披露してくれました。茨城県代表選手も首都圏の強豪選手たちになまったく引けをとらず、練習の成果を発揮したすばらしい競技内容でした。今回の大会では茨城県代表選手は全国大会に惜しくも出場は出来ませんが、回を重ねるたびに茨城県のレベルが上がっている事を実感した競技会でした。

最優秀賞

新潟県代表 青木 郁未 (15' 29")

群馬県代表 吉岡恵美子 (16' 12")

神奈川県代表 松尾 慎一 (15' 30")

(敬称略)

優秀賞

茨城県代表 横井 雅宏 (14' 29")

茨城県代表 平山 悦子 (15' 26")

茨城県代表 山形 宏子 (15' 45")

(敬称略)



理事会だより



第7回常任理事会

日時 3月10日(火) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、宮内副会長、池田・田口・矢口各常任理事、砂押専務理事
議題 (1)第2回理事会に提出する議案及び報告事項について
(2)その他

第2回理事会

日時 3月18日(水) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・池田・橋本・矢口・西村・真家各理事、砂押専務理事
議題 (1)第1号議案 平成27年度事業計画(案)について
(2)第2号議案 平成27年度収支予算(案)について
(3)報告事項 平成26年度事業に係る職務の執行報告について
(4)その他の報告事項について
(5)その他

第8回常任理事会

日時 5月20日(水) 13:30～15:30
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、宮内副会長、鷹巣・池田・田口・矢口各常任理事、砂押専務理事
議題 (1)第41回通常総会に付議する議案等について
(2)理事会・総会等の進行について
(3)第26回優良従業員表彰式について
(4)その他

第3回理事会

日時 6月11日(木) 10:30～11:30
場所 ホテル レイクビュー水戸「なでしこの間」
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長・鷹巣・池田・田口・橋本・西村・真家・長谷川各理事、砂押専務理事
議題 (1)第1号議案「平成26年度事業報告について」及び第2号議案「平成26年度決算について」
(2)第3号議案「選挙管理委員の選出について」
(3)第4号議案「公益社団法人全国ビルメンテナンス協会定時総会の代議員選出について」
(4)その他



各委員会だより



建物衛生委員会

◇ 第4回委員会

日時 7月1日(火) 15:00～16:30

場所 協会 会議室

出席者 矢口委員長、大曾根・藤原副委員長、
塩谷・篠崎・金親・藪田各委員
砂押専務理事

議題 (1)清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)の開催について
(2)シニアワークプログラム事業 クリーンスタッフ講習について
(3)ビルクリーニング技能検定受検準備講習会の日程について
(4)第44回茨城県障害者技能競技大会について
(5)その他

設備保全委員会

◇ 第3回設備保全委員会

日時 7月8日(水) 15:00～16:30

場所 協会 会議室

出席者 鷹巣委員長、高野・植田副委員長、佐藤・工藤各委員、砂押専務理事

議題 (1)技術者研修会のテーマ、通知等について
(2)その他

広報委員会

◇ 第4回委員会

日時 7月10日(金) 15:00～17:00

場所 協会 会議室

出席者 宮内副会長、田口委員長、湯原・古市副委員長、館・助川各委員、砂押専務理事

議題 (1)茨協ニュース(第92号)の発行について
(2)その他

◇ 編集会議

日時 7月22日(水) 15:00～16:30

場所 協会 会議室

出席者 宮内副会長、田口委員長、湯原副委員長、館・佐藤・助川各委員

議題 (1)茨協ニュース(第92号)の編集作業について
(2)その他

会員告知板

(27年4月以降分)

社名の変更(4月1日～)

(株)ビルテクノス 関東東支店 ソリューション部茨城ソリューショングループ
→ (株)日立ビルシステムエンジニアリング

支店・営業所の変更(4月1日～)

東京美装興業(株) 茨城支店 → 東京美装興業(株) 茨城営業所

事業所の移転(4月27日～)

国際ビルサービス(株) 茨城支店

所在地: 土浦市卸町1-2-1

TEL: 029-875-3751

FAX: 029-875-3531

余暇・趣味について考える

新生ビルテクノ株式会社 北関東支店長 渡邊 東於

先日、広報委員会の田口委員長から、「茨協ニュース」の「自由投稿欄」に掲載したいので、「余暇・趣味について考える」というテーマで話をしてほしいと依頼を受けました。

そこで、今回、田口委員長のインタビューに応える形式で、趣味に関して、日ごろ自分が抱えていることを申し述べさせていただきました。

皆様方の休日の過ごし方に、少しでもヒントを与えるものとなれば幸いです。

田 口：ズバリ、渡邊さんの趣味を教えてください。

渡邊支店長：写真と料理です。

田 口：始めた動機は、何だったのでしょうか。

渡邊支店長：写真は根っから大好きで、以前、それを仕事にしていました。転職した後も忘れられず、続けています。

料理は、一人での生活が長かったので、自然と身に付いた感じです。

田 口：渡邊さんにとって趣味とは、何なのでしょう。

渡邊支店長：自分にとって、趣味は、無駄のない自己投資（時間、お金）でもあります。熱中することで、自分の想像



力や意識に働きかけ、人としての豊かさを培ってくれる大切なものです。

また、趣味は、メンタルヘルスの効用も極めて大きいと思います。

田 口：趣味の醍醐味を、一言でお願いします。

渡邊支店長：作品や料理が出来たときの達成感です。もう最高です。

田 口：その趣味を、今後、どのように継続・発展させていきますか。

渡邊支店長：趣味は、極めて個人的な嗜好の色濃い世界ですが、それに社会性（＝仲間をつくる）を加えられれば、より充実したものになると思います。

趣味を介して仲間をつくり、人の輪が広がれば、様々な人々との出会いがあり、利害を抜きにした交流の中で、リラックスできる本物のお付き合いができるかもしれません。

そのような人の輪が、地域社会の中でネットワークを形成すれば、多くの方々が、その趣味に生涯を通じて打ち込めるようになると思います。



そのため、今後は、社会性を目指したいですね。

田 口： 協会ではいつも総会等の撮影で大変お世話になって大変感謝しております。写真の趣味について、今後の抱負をお聞かせください。

渡邉支店長： もっともっと沢山の対象物を撮影したいです。料理の写真も、今以上に撮っていききたいですね。

今まで、結婚式や葬儀など、大切な人生の思い出とか節目になるような写真を心掛けてきたので、これからも、そういった「貴重な瞬間」を撮っていききたいと考えています。

田 口： さらに新しい趣味を見つけたいとお考えですが。

渡邉支店長： 盆栽(鉢植え)をやってみたいです。
今のところ、鉢植えを、10鉢やり始めたところです。

田 口： 趣味に打ち込むうえで、留意すべき事があれば教えてください。

渡邉支店長： 常に前向きに積極的に進めることです。

料理のようなインドア的な趣味ですと、何となく静的で大人の世界というイメージですが、好奇心を研ぎ澄まし、どんどん新しいものを発掘していけば、動的でにぎやかな息の

長い趣味にしていけます。

田 口： 無趣味の人にお伝えしたいことがありましたら、お願いします。

渡邉支店長： 必ず、何かはやった方が良いと思います。

特に中高年の方にとっては、定年後の時間の過ごし方にも関係してきます。

難しく考える必要はありません。
たとえば、日に3度の食事の際に、いかに楽しんで美味しく食べるかを考えれば、それはグルメという趣味に発展します。食材の産地へのこだわり、旬へのこだわり、料理法へのこだわり、お店に対するこだわりなど、多彩な楽しみ方が生まれてきます。

単に生活を楽しもうと考えれば、なんでも趣味になり得ると思います。

生きていくうえで悩みは尽きませんが、それでも何か純粹に楽しめる、没頭できる時間や趣味があれば、幸せを感じることができるのではないのでしょうか。

そんな余暇や趣味に「生きがい」を求めるのもひとつの考え方です。

田 口： 含蓄に富んだお話、本当にありがとうございました。



会 員 紹 介

Ibaraki Building Maintenance Association

東京美装興業株式会社 茨城営業所

我が社は今年創業58周年を迎え、また茨城営業所は開設43年目となります。『常にお客様のために』をモットーとし、高度化・複雑化するお客様のニーズに的確にお応えし、社員一丸となって地域のお客様からご満足頂けるよう、日々業務に取り組んでおります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



株式会社 ともゑ

弊社は、1975（昭和50）年つくば市に本社を置き、爾来約40年に亘り建物総合管理会社として地道な企業活動を展開してまいりました。

この間、官公庁、独立行政・国立学校各法人、民間企業等より託されました様々な請負業務を通じ、建物総合管理のノウハウを習得し、豊富な経験と実績を蓄積してまいりました。



弊社は、今後とも設立以来の方針通り、「顧客第一主義」を社是とし、“customer first for the next stage”を掲げ、顧客のニーズと関係法令に適合したホスピタリティに意を用いつつ、木目細かく誠実で人間的温もりのあるオンリー・ワンの地域密着型のサービス及び管理体制の提供を引続き目指していく所存です。

日和サービス 株式会社



弊社は昭和38年に創業を開始しました。以降、日立ライフグループの一員として「ビルメンテナンス」「緑化・工事」「廃棄物処理」「商品サービス」を事業の柱として茨城県内を中心に事業展開しています。かけがえの

ない地球を未来の世代へと引き継いでいくために、弊社の強みである幅広い事業範囲と対応の速さを活かし、「環境・福祉」をキーワードに「明日をもっと美しく、地球に笑顔を」をスローガンに、社会に根付き、持続可能な豊かな社会の実現に向け取り組んでいます。



日興美装工業 株式会社

当社は、昭和41年に設立以来、総合施設管理業務をおこなっております。

茨城支社は、昭和52年以来、業務を通して茨城のさらなる繁栄にも努めております。

「お客様第一」を基本方針とし、より良いサービスを提供するべく、品質の向上に取り組んでいます。

今後とも倍旧のご支援ご愛顧を賜りますようお願いいたします。



次号の会員紹介は、東京ビジネスサービス(株)、(株)日進産業、(株)ニッセイ結城、(株)ニッソウ、日東メンテナンス(株)の5社にお願いする予定です。ご協力よろしくお願いします。



■ 編 ■ 集 ■ 後 ■ 記 ■

茨協ニュース第92号をご覧になる頃は、梅雨も明け猛暑日・熱帯夜など過ごしづらい日々が続いていると思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて我々の業界では、日中の屋外作業や、地下の冷房設備も無い部屋での作業が多々ありますので熱中症にならない様に気を付けて作業を行ってください。折角なので熱中症についてふれておきます。

熱中症の症状は、重症度によってⅠ～Ⅲ度に分類されています。

Ⅰ度…(症状) めまい・立ちくらみ・こむら返り・手足のしびれ

対処…涼しい場所へ移動する
衣服をゆるめる
足を高くして寝かせる
体を冷やす
水分・塩分を補給する

Ⅱ度…(症状) 頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感

対処…Ⅰ度の処置に加え、自分で水分・塩分が取れないようならすぐ病院へ

Ⅲ度…(症状) 意識障害・けいれん・呼びかけへの反応がおかしい・体が熱い

対処…すぐに救急車を呼ぶ
救急車の到着までは、Ⅰ度の処置をする

作業現場などでは、自分では気付かないことでも周りが異変に気付いてあげることも重要です。

これからも皆様に興味を持ってご覧頂けるよう、広報委員会一同、より良い茨協ニュース作りを目指していきますので宜しくお願いいたします。

新生ビルテクノ株式会社
館 由紀夫

今号の編集者

◎委員長

田口 順章(株)ともゑ)

◎編集委員

湯原 隆幸(タカラビルメン(株))

館 由紀夫(新生ビルテクノ(株))

佐藤 秀夫(J R水戸鉄道サービス(株))

助川 和徳(日興美装工業(株))

◎副会長

宮内 隆夫(関東ビルサービス(株))

発行所

茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
☎029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail: ibma1@ceres.ocn.ne.jp
http://www.ibaraki-bma.or.jp/

責任者

会長 大山 進

編集責任者

広報委員長 田口 順章

発行回数

年3回

印刷所

(有)クリエイティブサンエイ